

ひとことアドバイス

皆様、お身体の調子は如何でしょうか？気温の変化が激しい時期です。雨が降ったかと思えば、暑い日が続く…。体温調節にはお気を付け下さい。

ところで、倉敷市が作成している『保健福祉のてびき』という冊子をご存知でしょうか？この『てびき』には、介護や医療、福祉に関する、知っていれば得をする！？情報が書かれています。この冊子は、役所でもらうことができますが、インターネットで見るともできます。興味のある方はぜひ一度、読んでみてはいかがでしょうか？

ただし、今年度のもは、7月頃からの配布、及びインターネット上の記載になるそうです。もうしばらくお待ちください。



看護師 村田 理恵

編者のひとこと

『感謝とお礼』

今回の新聞では、初めて患者様ご家族からのお手紙を掲載させて頂きました。この方は、ご病気になられたご主人を約 20 年間ほぼ一人で看病をされました。私自身、診療に同行し何度か奥様にもご主人様にもお会いしたことがあるのですが、疲れているに違いないのに、いつも笑顔でお迎えくださり、看病の疲れを感じさせない方だと感じました。

お手紙の文面に、当院の訪問診療や地域の訪問看護師さんの支えがあったから…と書いて頂いたのですが、この患者様には、何より奥様の笑顔の看病がご主人さんにとって一番だったのではないかと思います。

今回は、こんなに丁寧なお手紙をいただき本当に有難うございました。当院にとっては、出来る事をさせて頂いただけでしたので、ご主人様と奥様のお力になれたのであれば、大変うれしく感じます。この度は、ご丁寧なお手紙、本当にありがとう御座いました。

事務長 上畑 大

お知らせ

※ 患者様や在宅医療に関わる方の在宅医療での体験談を募集しています。

※ 医療及び介護等の保険者証が新しくなった場合は、医師の訪問時にコピーのご用意をお願いいたします。

※ 当クリニックの診療に関する、ご質問があれば、気軽にご連絡ください。

医療法人つばさ つばさクリニック

診療曜日	月曜日～金曜日
定期訪問	午前9時～午後5時
休診日	土・日曜日 祝祭日
診療科目	訪問診療 内科 循環器科 呼吸器科 整形外科
住所	倉敷市大島388-2
電話	086-424-0283

つばさ新聞



6月8日午前、気象庁より中四国地方が梅雨入りしたとの発表がありました。平年より1日、昨年(5月21日)より18日遅いそうです。梅雨に入ると、高温多湿でジメジメとした気候になり、過ごしにくく体調を崩しやすい時期になります。また、生活の面でも「洗濯物が乾きにくい」「食べ物が腐りやすい」などの悩みが多く聞かれる時期でもあります。

私どもつばさクリニックでも、外に出る診療なので、決して好ましい時期ではないのですが、当院を待つ下さる患者さんの為にも、暑かろうが寒かろうが、日々の訪問に向かいます。皆様、お互いに体調管理には気を付けてこの時期を乗り越えていきましょう。

(つばさ新聞 作成委員)

ご挨拶

『副院長就任について』

この4月に、つばさクリニックの副院長として就任いたしました、岡田豊です。より地域に貢献できるクリニックとなり、質の高い在宅医療を提供し続けることができるよう、副院長として、また一人の医師として、職務に専心努力する所存です。今後とも、より一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます

副院長 岡田 豊





ご家族からのお手紙



突然主人が倒れ、長い看護生活に入りました。その間には介護保険制度ができ、デイサービス、訪問介護、訪問リハビリを利用しながら家での生活をすることができました。前々から訪問診療をしてくださる先生がおられると良いのに・・・と訪問して下さる方達に話していましたが、リハビリの先生より「お母さん、望んでいた先生が開業されるよ」と知らせてくれ、早速つばさクリニックさんをお訪ねしました。平成20年5月のことです。6月よりつばさクリニックさんをお願いすることとなりました。

中村先生をお願いする前は調子が悪くなるのは夕方からの事が多く、そのたびに救急に行くかどうかの判断をいつも心配しながらの生活。それがなくなり精神的にずいぶん楽になりました。

つばさクリニックさんに変更半年程たった頃、容体が悪くなりだし、思いもよらない食道癌が見つかりました。対処療養をすることになり、体調の良い時はデイサービス、訪問看護、訪問リハビリを利用しながらの日々でした。高熱が出る様になってからは中村先生や看護師さんなどいつも誰かが訪ねて下さる体制ができていましたので、私は安心して介護を頑張れました。本当に皆様に助けられ安心して日々を過ごすことが出来ました。感謝しております。有難うございました。

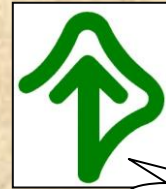
M・Y



Dr.山本の

在宅医療あれこれ

『耳より情報 part.1』



難聴マーク



暑さが日ごとに増してまいりましたが、皆様お身体の調子はいかがでしょう？

今回、私の専門でもある耳についてのお話をさせていただきます。年齢とともに聴力が低下するのは皆さんご存知かと思います。聞こえが落ちるとコミュニケーションがとりにくくなり、日常生活で困る場面が増えてきます。年齢によるものと諦める方が多いですが、原因が耳垢の場合があるので定期的に耳を診ることが大事になります。

耳垢が原因の場合は、診療の際に取り除くことができますし、本当に聞こえが悪くなり難聴で補聴器が必要な場合でも、自宅での対応が可能なので遠慮なくご相談ください。

ちなみに、補聴器の効果は実際に使用しないとわからないことが多いですが、最近は補聴器を貸し出して、自宅での調整が可能です。耳のことでお困りのことがあれば何でもご相談ください。

Dr.岡田の

南極物語

第3話：南極の動物たち

南極では1年のほとんどが極寒であるため、動物たちが生きていくにはかなり厳しい自然環境と言えます。しかし、夏場(12月～2月)になるといくつかの動物を見ることができます。

昭和基地周辺では、ペンギン(コウテイペンギン、アデリーペンギン)やアザラシ(ウェッデルアザラシ)をよく見かけます。コウテイペンギンは、体長が130センチもある最も大きなペンギンで、僕が参加した51次隊では基地まで遊びに来てくれました。アデリーペンギンは基地近くに巣営地を作ることから、毎年生態調査を行っています。

ちなみに、1次隊の頃はペンギンやアザラシを捕獲することが認められていましたが、現在は南極条約により、調査目的以外で動物に接触することは禁止されています。南極の動物たちは、我々観測隊を『目で和ませてくれる』そんな存在なのです。



職員紹介

今回は看護師さんです！



森分 涼子
職種：看護師
趣味：ギター(予定)
『笑顔を大事に…！』



光岡 和恵
職種：看護師
趣味：子育て
『一生懸命がんばります』